

UNISDR主催の2017 Global Platform開催プレ・イベントで学生ボランティア活動についてのテレビ国際会議を実施しました(2017/5/21)

テーマ：防災国際会議，学生ボランティア活動，UNISDR

場 所：東北大学工学部リーディング大学院教員室（仙台市）・グローバルプラットフォーム会場（メキシコ）

URL： <http://www.unisdr.org/conferences/2017/globalplatform/en>（グローバルプラットフォーム会議）

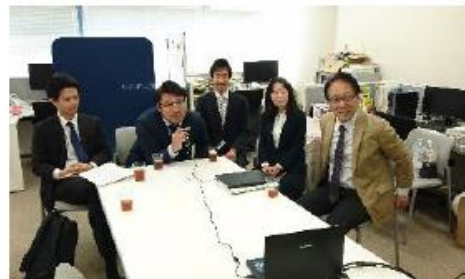
2015年に仙台で開催された「国連防災世界会議(WCDRR)」から2年経過した2017年 5月22日から5日間に渡り、メキシコ・カンクーン市において国連（UNISDR）が主催する グローバルプラットフォーム(GP)会議が開催されます。この会議に先立ち、UNISDRと協力してGP会場でのボランティア活動を行う予定の学生（200名ほど）と2年前に活動を行った学生および支援教員とがオンラインで結び、テレビ国際会議を行いました。当時のWCDRRでの役割や 経験、さらに学びなどの紹介をしながら、GPボランティアからの質問に答えていきました。 ボランティア活動で困ったこと、ハイレベルの方々への対応方法、活動を終えて経験がどのように役立ったのか？などの意見交換を実施し経験を共有化しました。途中、WCDRR会議で提案された仙台防災枠組についての質問も出ており、防災への意識の高揚も見られました。今回のようにWCDRR会議終了後も国連への協力を通じて、防災・減災についての活動や学びを継続的に 実施していきたいと思えます。

津波工学研究室からは以下のメンバーが参加しました；

久松さん（D3）：Bilateral meeting rooms management

牧野嶋文泰さん（D1）：Poster booth management

このテレビ会議実施では、当研究所の地引泰人助教（リーディング大学院）と今村文彦教授（災害リスク研究部門）が支援を行いました。



（文責：今村）